

# 全体的な計画

保育理念	○健やかな心と体のこどもに育てます。～自分の人生を幸せに生きる～	保育方針	私たちの願い、緑豊かな園のように育ち素敵な花を咲かせて欲しい。自分の人生を幸せに生きる。指し目に見えない心の育ちが大事。一人一人が愛される喜びを感じる。(アタッチメント)自己肯定感を育む。ある	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身に付ける</li> <li>安心して自分の思いを表現する</li> <li>季節の事象に気づき、移ろいを感じる</li> </ul>
年齢別保育目標	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>心地よい環境の中で一人ひとりの生活リズムに合わせてゆったりと過ごせるようにする。</li> <li>保育者との信頼関係を深める。</li> <li>衛生的で安全な環境の中で身体活動や探索活動を十分に行い運動機能や探索意欲を高める。</li> </ul>	3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者は丁寧に関わる。</li> <li>遊びや体験を通して、いろいろなことに興味・関心を持ち、自分を表現する。</li> <li>保育者や友だちと関わり、遊びを通して相手の気持ちにも気づいていく。</li> </ul>	
	1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人の心身の発達・発育の状況を把握し、安心して過ごせるようにする。</li> <li>好きな遊びや探索活動を一人でじっくり楽しむ。</li> <li>保育者に気持ちや思いを身振りや簡単な言葉で表現しようとする。</li> </ul>	4歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な活動を通して自立と自信を養い、生活経験の範囲を広げられるようにする。</li> <li>自分がやりたいことを見つけ、夢中になって遊び込む。</li> <li>遊びや生活の中で、友だちと考えを出し合い、工夫しながら挑戦したり、遊びを広げていったりする。</li> </ul>	
	2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と協力しながら、適切な生活リズムを整え、基本的な生活習慣が身に付くように関わる。</li> <li>保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>興味のあることの模倣をしたり、保育者や友だちと一緒に言葉のやり取りを楽しみ、イメージを共有して遊ぶ。</li> </ul>	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣が確立し、自分を肯定する気持ちが育まれ、何事にも自信を持って取り組めるようになる。</li> <li>遊びのなかで、自然や身近な事象に興味や関心をもち、豊かな心情や知的好奇心、探究心を高める。</li> </ul>	

## 保育の内容

項目	0歳児	項目	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	<b>生命の保持</b> ○個々の生活リズムに合わせ、快適で安全に過ごせるようにする。十分な栄養・睡眠・清潔を保ち、健康を守る。	<b>生命の保持</b> ○歩行の確立により、探索行動も盛んになるため、より一層安全に過ごせるように配慮する。また個々の生活リズムが整い安心して健康な園生活を送ることができるようにする。	<b>生命の保持</b> ○健康的な生活習慣を身につけ、身体発達の促進を促す。 安心できる環境の中で、心身の安全を守る。○自分や周りの安全を意識し、危険を避ける基礎を身につける。十分な休息とバランスの良い活動を通じて、体調を整える力を養う。	○全身を使って運動遊びを楽しみながら、基本的な運動能力を身に付けられるよう関わる。○健康的な生活習慣を身につけ、安定した日常生活を送る。	○基本的な生活習慣を身につけ、自分の健康や安全に関心を持てるようになる。○自分の体の状態や不快感を言葉で伝えられるよう配慮する。	○生理的な欲求が満たされることの大切さを知らせ健康・安全など生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身に付けられるようにする。○周りの友達や保育者に「大丈夫？」と声をかけるなど、他者の健康や安全にも関心を持つ。	
	<b>情緒の安定</b> ○特定の保育者の応答的なかわり、ふれあいの中で、愛着関係を築く。○保育者との信頼関係を築き、安心感を持って過ごせるようにする。		<b>情緒の安定</b> ○自分の思いや欲求を十分に表出できるように関わり、安心して過ごせるようにする。	○担当保育者や身近な大人との信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。	○友だちや保育者との関りが深まり安心できる環境の中で自分の気持ちを表出し安心して過ごせるようになる。	様々な体験から自己肯定感を育むとともに、他者の気持ちにも気づき始める。	○友達との関わりの中で他者の気持ちに気づき、共感する力を育てる。自信を持ち、安心して新しいことに挑戦する意欲を持つ。
教育 三つの視点	<b>健やかに伸び伸びと育つ</b> 身体的な発達の促進、寝返り、はいはい、つかまり立ち、歩行といった発達段階に合わせて関わる。○一人一人の生活リズムを大切に、健やかに安心して過ごせるようにする。	<b>健康</b> ・歩行が安定して行動範囲が広がる。 ・全身を使って遊ぶことを楽しむ。	・手を洗う、鼻水を拭くなど保育者と一緒に行う。 ・手洗ってもいながら身の回りのことを自分でしようとする気持ちをもつ。	・食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、清潔等の基本的な生活習慣を身につけ生活を広げる。体を十分に動かし、健康的に過ごす。	・力強く走る、ボールを蹴るなど、全身を使う運動に挑戦する。健康で安全な生活に必要な習慣を身につける。	・自分が出発することの範囲を広げながら、見直しを持って、健康・安全などの生活に必要な基本的な生活習慣や整理整頓などの態度を身に付ける。いろいろな運動に挑戦し、体の動きをよりコントロールする力を備える。自分や友達に安全に気を配り、危険を予測して行動する。	
	<b>身近な人と気持ちが通じ合う</b> ○担当保育者と愛着関係を育みながら、欲求を繰り返して受け取ってもらい信頼関係を築いていく。子どもが安心して過ごせる雰囲気を作る。	<b>人間関係</b> ・友だちや保育者とのやり取りを楽しみながら愛着関係を深める。	・友だちや保育者との関りの中で身の回りのことをしようとする。	・共に過ごす楽しさ、友だちと一緒にいる喜びを味わう。保育士が仲間となり、生活や遊びの中で模倣活動やごっこ遊びを楽しむ。 ・安心して活動に参加する	自分の思いを伝え、相手の思いも聞いて話を聞き、思い通りにいかない経験から、相手の思いに気づいていく。	・集団の中で自己主張したり、人の気持ちを考えながら行動しようとするいたり思いやりの気持ちを育てる。 ・自分の役割への責任感が持てるようになる。	
	<b>身近なものに関わり感性が育つ</b> ○身近にある様々なものに興味関心を持ってよう働きかける。生活の中にあるものに触れ、側にいる保育者の仲たちのものと気づきや発見を丁寧に伝える。	<b>環境</b> ・身近な自然に親しみをもち、外界に対する好奇心を持つ。 ・様々なものを見たり触れたりする	・散歩や戸外遊びを通してその季節の自然に触れ、探索活動が盛んになる。 ・年齢に合った玩具を提供する中で保育者や友だちと共有しながら遊ぶことを楽しむ。	・身近な自然の不思議や季節を感じる。 ・戸外遊びや経験したことをごっこ遊びに取り入れるなど、豊かな感性や好奇心を養う。	・共同のものを大切に。 ・自然などの身近な環境に積極的に関わり遊びの中に取り入れる。体験を通じてもの色、量、形に関心を持ち、数えたり、比べたりする。	・公共の場での行動の仕方を知る。 ・身近な植物や虫、鳥等に親しみ、小さな物にも命があることを知り、不思議さ、美しさに気づき関心や愛情を持つ。	
	<b>表現</b> ・音楽に合わせて体をゆらす。保育者の真似をして体を動かそうとする。 ・様々な素材に触れる	<b>言語</b> ・保育士を真似て言葉を発する ・自分の思いを表情や仕草で伝えようとする。	・生活に必要な簡単な言葉を知る ・身の回りのことや自分の感情を自分の言葉で伝えようとする	・身近な環境に関心を持ち、自分から関わり、保育士との会話の中で言葉による表現を豊かにする。	・友だちの話を聞いたり自分が体験したりしたことを言葉で伝える楽しさを味わう。	・様々な機会や活動の場で、自分の意見が受け入れられたり相手の気持ちを理解することの喜びを感じる。 ・園の近くの地域にも興味をもてるようになり保護者や保育者との会話の中でイメージを共有する。	

<b>食を営む力の基礎</b> 安心できる環境の中で授乳や食事を。一人ひとりの発達に合わせた離乳食を進め、食べる意欲を育てる。	<b>食を営む力の基礎</b> 食事のリズムを整える。自我の芽生えを大事にし、食べる意欲を育てる。	みんなと一緒に食べることを楽しむ。色んな素材の味を知る。	友だちと一緒に食べる楽しさを知る。色んな素材に慣れたり、食事のマナーや食具の使い方を覚える。	友だちと一緒に食べる楽しさを知る。食べ方や食事のマナーを身につける。	食べ物と体の関係に関心をもつ。食べ方や食事のマナーを身につける。自ら行う。
<b>健康管理</b>	健康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握。登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応。年間保健指導計画の作成と実施。健康診断・歯科検診・尿検査の実施。管理栄養士の配置。嘔吐戻との連携。感染症が流行した時に保護者への連絡をコモンとする。4歳児は5歳の誕生日を迎えた時に、視力検査を行う。				
<b>環境・衛生管理</b>	感染症予防対策の実施。具体的には次亜塩素酸で、園内の壁・床などの消毒と玩具の消毒を行う。室内外を月1回点検する。(安全チェックリスト)安全・衛生管理に努める。園の中、外共に修繕箇所あれば主任に知らせる。外部と連携する。				
<b>安全対策・事故防止</b>	毎月の避難訓練の実施。災害マニュアル・保護者向け災害時の対応マニュアルを作成し、避難訓練の際に周知徹底。消防署、地域との連携。実際に災害が起こったことを想定しながらの訓練を行う。年に2回ほど引き渡し訓練を行う。また消防署への通報訓練も行う。				
<b>保護者への支援</b>	月1回のあゆみらい便り・給食便り・クラス便りの発行。紙面とHP・SNSで子育て支援情報の発信。またあゆみらいカフェと定め、1年に1回ほど申し込まれた方と食事をしながら子育ての話をしあう機会を設ける。				
<b>地域等への支援</b>	地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育の内容を適切に分りやすい言葉で説明する。月1回 卒園児を対象にこども食堂を行う。				
<b>地域行事への参加</b>	フラワーガーデンのハロウィンパーティに参加。近所への散歩、買い物など園の周りの資源に目を向ける。				
<b>研修計画</b>	○園内研修の充実(昼礼での意識合わせ、共通理解・クラスミーティングでの勉強会・世代間交流・リーダーミーティング)○園外研修への計画的な参加				
<b>小学校との連携</b>	保幼小連絡会への積極的参加。架け橋プログラムについて、現在の状況を理解し子どもたちが継続的な支援が受けられるように年長児の1月～3月までは就学前と意識し保育を考えるようにする。				
<b>自己評価</b>					